

韓日国交正常化 60 周年記念 韓国文学翻訳院文学イベント ～ここに触れる－韓国文学がつなぐ私たち～ 開幕式「こころをつなぐ-韓国作家と日本読者の出会い」開催

平素より格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

この度、駐日韓国大使館 韓国文化院では、韓日国交正常化 60 周年を記念し韓国文学翻訳院が開催する文学イベント「ここに触れる－韓国文学がつなぐ私たち」の開幕式を韓国文学翻訳院とともに開催する運びとなりました。

本イベントは、韓国の文学界を代表する詩人ナ・テジュ、小説家イ・スンウ、チョン・ジア、ペク・スリン、チェ・ウニョン 5 名の作家が参加し、11 月 19 日(水)から 22 日(土)の 4 日間、都内の書店等で開催される韓国文学翻訳院の文学イベント「ここに触れる－韓国文学がつなぐ私たち」のオープニングを飾る開幕式となります。

ナ・テジュ詩人の詩朗読セッションとイ・スンウ、チョン・ジア、ペク・スリン、チェ・ウニョン 4 名の小説家による対談セッションの 2 部構成となっております。

つきましては、本イベントの周知にご協力いただけますようお願いいたします。

資料のご依頼、取材のお申し込みは、駐日韓国文化院 図書映像資料室(03-3357-6071)までご連絡下さいますようよろしくお願い申し上げます。

【イベント概要】



■行事名：開幕式：こころをつなぐ－韓国作家と日本読者の出会い

■日 時：2025 年 11 月 19 日(水) 19:00～21:00

■会 場：駐日韓国文化院 2F ハンマダンホール
(東京都新宿区四谷 4-4-10)

■イベント内容

詩朗読 (19:00～19:35)

出演：ナ・テジュ

朗読：藤田麗子(翻訳者)

司会：倉本さおり(書評家)

作家対談 (19:40～21:00)

出演：イ・スンウ、チョン・ジア、ペク・スリン、チェ・ウニョン

司会：倉本さおり

■主 催：韓国文学翻訳院、駐日韓国大使館 韓国文化院(開幕式)

【お問い合わせ】駐日韓国大使館 韓国文化院 ☎03-3357-6071 ◻www.koreanculture.jp

イベント担当 小田切祐一 / 広報担当 趙恩京 (ジョ・ウンギョン)

【出演者プロフィール】

ナ・テジュ

韓国を代表する詩人。代表作『花を見るように君を見る』は2015年以降、もっとも売れた詩集として幅広い世代から愛されている。KPOPアーティストや著名人たちの愛読書としても知られ、日本でも詩集としては異例の10万部を超えるベストセラーとなった。

イ・スンウ

1981年、『エリュシクトーンの肖像』が、「韓国文学」新人賞に選ばれデビュー。短編集に『香港パク』（講談社）、長編小説に『生の裏面』『植物たちの私生活』（ともに藤原書店）、『真昼の視線』（岩波書店）などがある。大山文学賞、東仁文学賞、李箱文学賞など受賞多数。

チョン・ジア

1990年、自身の両親をモデルにした長編小説『パルチザンの娘』を発表するが、発禁処分となる。『資本主義の敵』に収録の短編「私たちはどこまで知っているのか」で金裕貞文学賞、30万部を超える『父の革命日誌』で萬海文学賞を受賞。

ペク・スリン

短編小説「嘘の練習」（2011年京郷新聞新春文藝）でデビュー。若い作家賞、文知文学賞、李海朝文学賞、現代文学賞、韓国日報文学賞を受賞。著書に短編集『惨憺たる光』『夏のヴィラ』（書肆侃侃房）、『フォーリング・イン・ポール』、エッセー『やさしい毎日毎日』などがある

チェ・ウニョン

2013年、『作家世界』新人賞に入選して作家活動を始める。第5回、第8回、第11回若い作家賞、第8回ホ・ギョン文学作家賞、第24回キム・ジュンソン文学賞、『わたしに無害なひと』で第51回韓国日報文学賞、『明るい夜』で第29回大山文学賞を受賞。日本で翻訳された著書に、短編集『ショウコの微笑』（クオン）、『わたしに無害なひと』（亜紀書房）、長編『明るい夜』（亜紀書房）、掌編小説集『無理して頑張らなくても』（早川書房）、共著書に『ヒョンナムオッパへ』（白水社）がある。

※関連文学イベント「ここに触れる－韓国文学がつなぐ私たち」

今回、一連の韓国文学翻訳院の文学イベントは、11月19日の開幕式に続き、作家個別のイベントと作家対談イベントが神保町周辺にて開催されます。

■期間：2025年11月19日（水）～11月22日（土）

※開幕式「ここをつなぐ－韓国作家と日本読者の出会い」 / 2025.11.19（駐日韓国文化院）

■主催：韓国文学翻訳院、駐日韓国文化院（開幕式）

■協力：K-BOOK フェスティバル 2025、後援：文化体育観光部、BOOK MEETS NEXT 事務局

①作家個別イベント

11.20（木）19～21時（Cafe Lish） / チョン・ジア「歴史の傷と人生の出会い」

11.20（木）19～21時（神保町ブックセンター） / ペク・スリン「異郷の世界と孤独との向き合い」

11.21（金）15～17時（神保町ブックセンター） / ナ・テジュ「野花のような愛と日常のあたたかな抱擁」

11.21（金）19～21時（神保町ブックセンター） / チェ・ウニョン「傷ついた心と結ばれる私たち」

11.21（金）19～21時（Cafe Lish） / イ・スンウ「本質的な愛と人間存在のつながり」

②作家対談イベント

11.22（土）16時（出版クラブビル） K-BOOK フェスティバル 2025 Q&A セッション

出演：チェ・ウニョン、ペク・スリン、イ・スンウ、ナ・テジュ